

取扱説明書（本体編）

顔認証付きカードリーダー

品番 XC-STFR1J-MN



この冊子は
『**本体編**』
です。

この冊子は、『**本体編**』です。

先に付属の『取扱説明書 準備編』をご覧ください
本機の準備を実施してください。

- ・アプリケーションソフトのインストール
- ・お手入れ
- など

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- イラストや機能、画面、仕様など本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

この取扱説明書の記載内容は 2024年4月 1 日現在のものです

PYQP1040ZCD/J1

目次

1 本体と付属品の確認.....	3
2 各部の名称と働き.....	4
2.1 正面側の名称と働き.....	4
2.2 背面側の名称と働き.....	5
3 接続と準備.....	6
3.1 背面のケーブルカバーを開ける.....	6
3.2 本機に各ケーブルを接続する.....	6
3.3 全体接続図.....	7
3.4 背面のケーブルカバーを閉める.....	7
4 本機のセットアップ.....	8
4.1 セットアップ済み資格確認端末の準備.....	8
4.2 資格確認端末にアプリケーションソフトをインストール.....	8
4.3 OS の設定確認.....	17
4.4 ランタイムソフトのインストール.....	22
4.5 アプリケーションソフトの個別設定.....	23
4.6 アプリケーションソフトの動作確認.....	25
5 管理画面について.....	28
5.1 管理画面の表示項目について.....	28
5.1.1 アプリケーションソフトの運転モードについて.....	29
5.1.2 アプリケーションソフトの状態について.....	29
6 アプリケーションソフトの起動と終了.....	30
6.1 アプリケーションソフトの起動方法について.....	30
6.2 アプリケーションソフトの終了方法について.....	31
7 アプリケーションソフトのアンインストール.....	32
7.1 XC-STFR1J-MN 用アプリケーションソフトのアンインストールについて ..	32
7.2 XC-STFR2J-MN 用アプリケーションソフトのアンインストールについて..	33
8 ログイン ID(顔認証用アカウント)の切り替え手順について.....	34
9 故障かな!?.....	35
10 お手入れ.....	37
11 ソフトウェアライセンス情報について.....	38
付録 A: クリアスクリーンツールの機能について.....	39
付録 B: アプリケーションをアンインストールする前に.....	50

1 本体と付属品の確認

お買い上げいただいたパッケージの中には以下のものが入っています。お使いになる前にご確認ください。万一、不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売店もしくはご相談窓口にご連絡ください。

- 本体 1 台
(のぞき見防止フィルター付き)



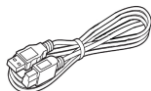
- ACアダプター 1 個



- 電源コード 1 本
(約 1.9 m)



- USBケーブル 1 本
(約 3 m)



- DVD 1 枚
・アプリケーションソフト
・取扱説明書(本体編) 本書



- 取扱説明書 準備編 1 冊

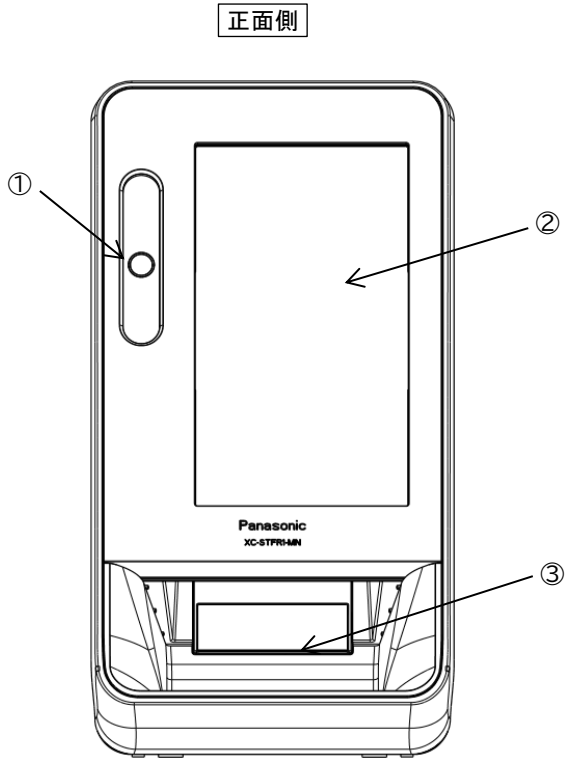


※製品のイラストは、実物と異なる場合があります

2 各部の名称と働き

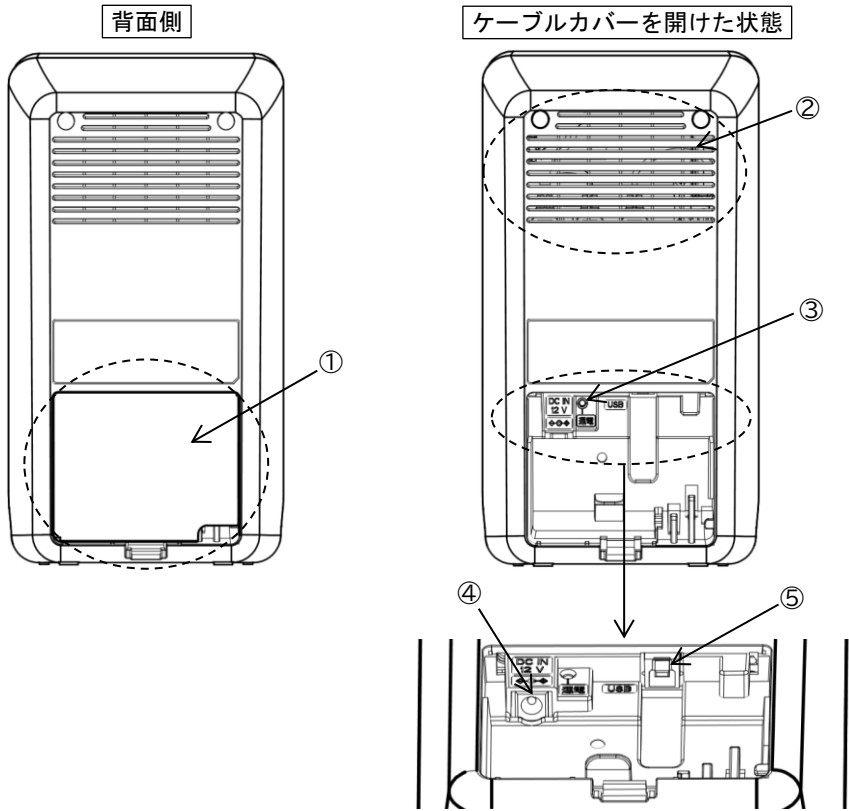
各部の名称と働きを説明します。

2.1 正面側の名称と働き



番号	名称	働き
①	顔認証カメラ	マイナンバーカード所有者の顔を撮影します
②	タッチパネル付きディスプレイ (のぞき見防止フィルター付き)	画面表示と各操作を行います
③	カード置台	マイナンバーカードを置く場所です

2.2 背面側の名称と働き



番号	名称	働き
①	ケーブルカバー	ACアダプター、USBケーブルの抜き差し、通電状態確認の際に外します
②	通風孔	内部の熱を逃がします
③	通電ランプ	通電状態のときにランプ(緑色)が点灯します
④	DC IN端子	付属のACアダプターのDCコードを接続します
⑤	USB 3.0 Type-B ポート	付属のUSBケーブルを接続します

3 接続と準備

本機と資格確認端末の接続を説明します。

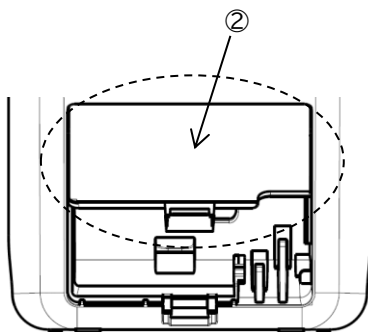
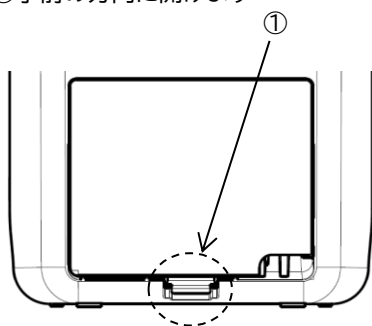
以下、手順の通りに接続作業を実施してください。

・電源コードをコンセントに差し込む作業は最後に実施してください

3.1 背面のケーブルカバーを開ける

①背面のケーブルカバーのフックを押しながら

②手前の方向に開けます



3.2 本機に各ケーブルを接続する

①本機のUSB 3.0 Type-B ポートに付属のUSBケーブルを接続します

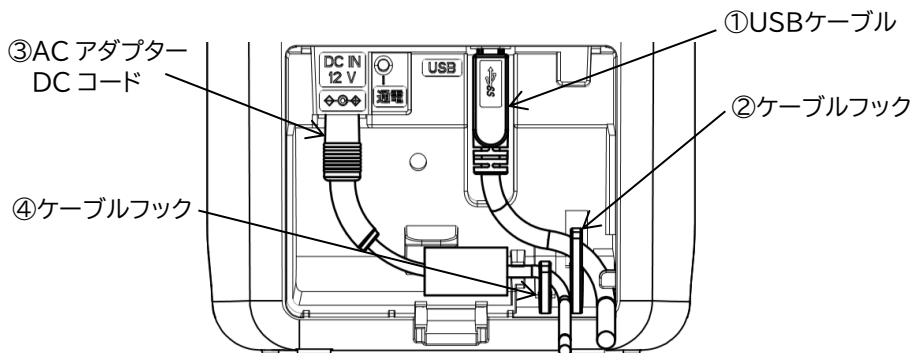
・根元までしっかりと差し込んでください

②USBケーブルをケーブルフックに固定します

③本機のDC IN端子に付属のACアダプターDCコードを接続します

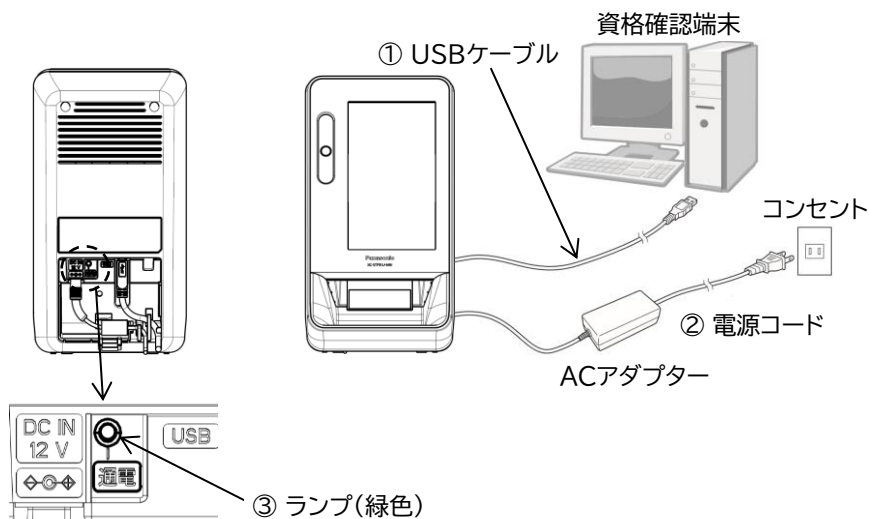
・この状態で電源コードをコンセントに差し込まないでください

④DCコードをケーブルフックに固定します



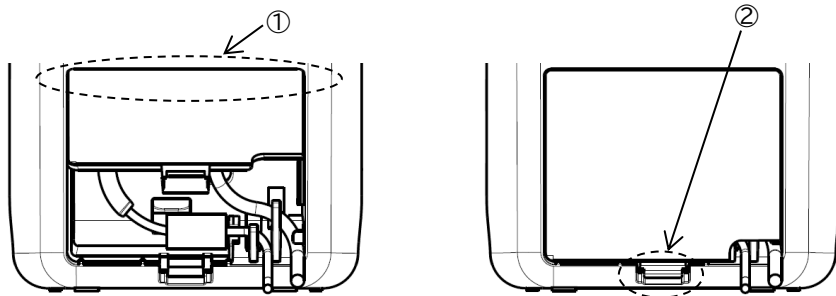
3.3 全体接続図

- ①本機に接続したUSBケーブルを資格確認端末に接続します
 - ・資格確認端末は、USB3.0 対応ポートに接続してください
 - ・接続先ポートがご不明な場合は、PC メーカー様へお問い合わせください
 - ・USB ケーブルは、根元までしっかりと差し込んでください
- ②電源コードをコンセントに差し込みます
- ③通電ランプのランプ(緑色)が点灯することを確認します
(本機は、通電状態になってもアプリケーションソフトを動作させるまで動作しません)



3.4 背面のケーブルカバーを閉める

- ①背面のケーブルカバーのツメを本体のミゾに合わせて
- ②本体側に押しつけて閉めます



4 本機のセットアップ

本機を動作させるために必要な顔認証付きカードリーダーアプリケーションソフト(以下、アプリケーションソフト)をインストールする手順について説明します。

※事前に本機が通電状態であること、および資格確認端末と接続されていることをご確認ください(→「3.3 全体接続図」参照)

※本機のアプリケーションソフトをインストール後、動作確認を実施いただく手順があります
その際、マイナンバーカードが必要となりますので事前にご準備ください

※OSS や他社製品のライセンスや使用許諾について事前にご確認ください
(→11 ソフトウェアライセンス情報について)

4.1 セットアップ済み資格確認端末の準備

取扱説明書(準備編)^{※1}の4.5 資格確認端末のセットアップ作業を完了(および資格確認サーバとの接続が完了)している資格確認端末をご準備ください。

※1 本書とは別の紙媒体の説明書となります

4.2 資格確認端末にアプリケーションソフトをインストール

本機を動作させるためには、資格確認端末にアプリケーションソフトをインストールする必要があります。アプリケーションソフトは、付属のDVDに収録されていますのでご準備ください。

※資格確認端末に DVD ドライブが内蔵されていない場合は、別途、お客様自身で DVD ドライブをご準備ください

- ①資格確認端末のCD/DVDドライブを開けて、ディスクトレイに付属のDVDをセットし
CD/DVDドライブを閉じてください
- ②Windows キー+『E』でエクスプローラを起動し、CD/DVD ドライブを選択してください
- ③「アプリケーションソフト」のフォルダをクリックし、配下に配置されているファイル
『Installer.exe』をダブルクリックしてください

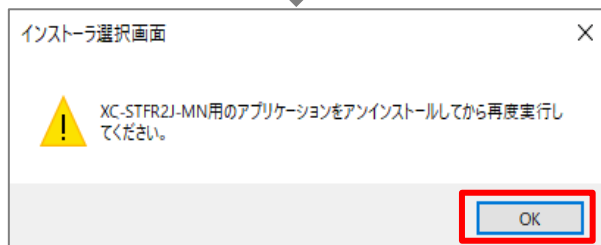
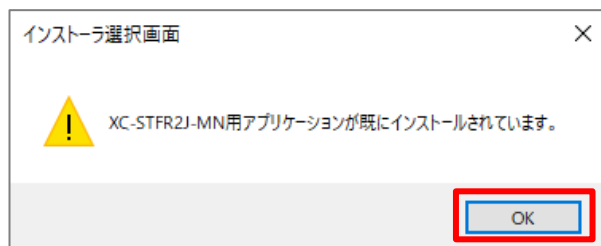
※アンインストール時にもこのフォルダ配下のファイルを使用しますので「アプリケーションソフト」フォルダごと、デスクトップ等のローカルディスクにコピーすることを推奨致します

- ④インストーラー選択画面が表示されますので、「XC-STFR1J-MN」が選択されていることを確認し、『選択』ボタンをクリックしてください



※すでに「XC-STFR2J-MN」のアプリケーションソフトがインストールされている場合は、下記のようなメッセージが表示され、インストールが中断します

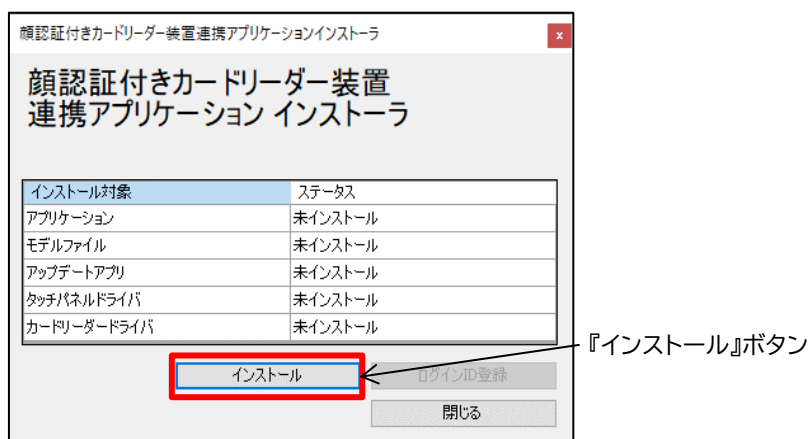
④の手順を実施する前に必ず「XC-STFR2J-MN」アプリケーションソフトのアンインストールを実施してください。(→7.2 参照)



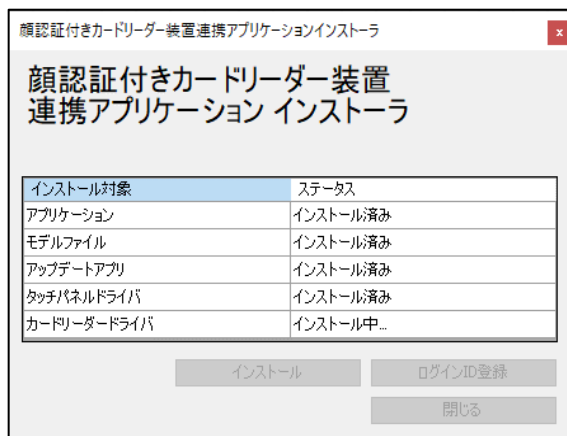
下記確認画面が表示されたら『はい』ボタンをクリックしてください



⑤インストーラー画面が起動しますので『インストール』ボタンをクリックしてください



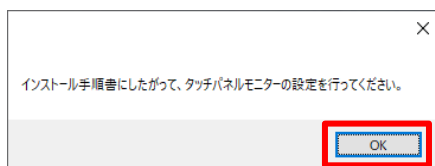
インストールが開始されます(数分かかります)



⑥すべてのインストールが完了すると、下記画面が表示されますので、『OK』ボタンをクリックしてください



⑦本機のディスプレイ設定を行いますので、『OK』ボタンをクリックしてください



※「インストール手順書」は本書となります

⑧ディスプレイ設定画面が起動しますので本機のディスプレイ※¹をクリックしてください
(クリックすると青色になります)

※¹ ディスプレイ設定画面は、接続されているディスプレイにより表示が異なります
ので解像度が『800×480』のディスプレイが選択されていることをご確認ください



本機のディスプレイ

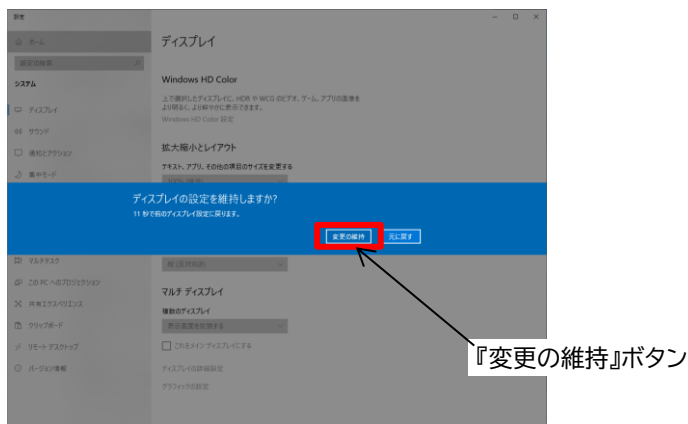
※ディスプレイの設定が複製になっている場合は、Windows キー+『P』を押下し、
ディスプレイの設定を「拡張」にしてください



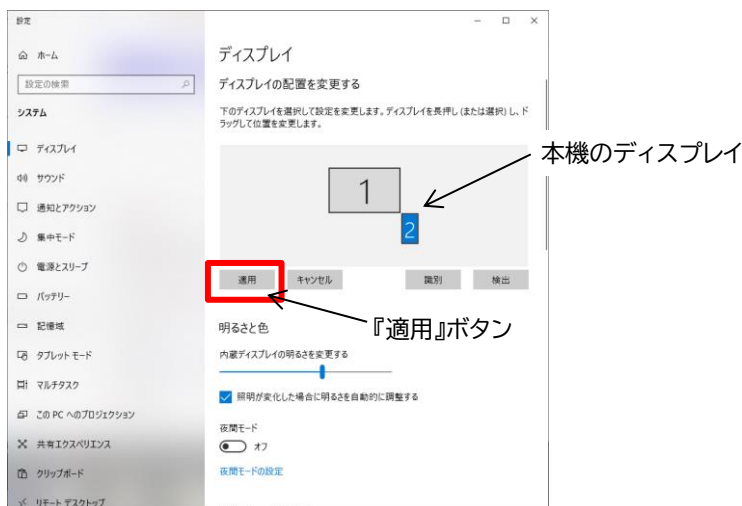
- ⑨同画面で下にスクロールし、『画面の向き』のプルダウンで『縦(反対向き)』をクリックしてください



- ⑩下記確認画面が表示されますので、『変更の維持』ボタンをクリックしてください



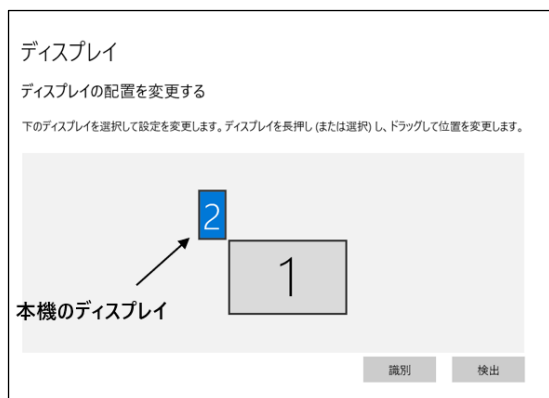
- ⑪本機のディスプレイをドラッグし、右下になるよう配置し、『適用』ボタンをクリックしてください



- ⑫画面右上『×』ボタンをクリックし、設定を終了してください

【アドバイス】

端末でオンライン資格確認以外のアプリケーション(表計算ソフト、文書作成ソフト等)をお使いのお客様で、端末画面上に表示されているアプリケーション画面で本機のディスプレイ画面が隠れてしまうことを抑止したい場合は、下図の通り、本機のディスプレイを「左上」に配置することを推奨させていただきます。(配置後、『適用』ボタンをクリックしてください。)



⑬ログイン ID 登録画面が表示されます

『デバイス名』には自動で値が入力されます(※変更しないでください)

『デバイス ID』と『パスワード』には、資格確認端末の『ID』、『パスワード』を入力してください

※デバイス ID とパスワードには別紙「医療機関等向けセットアップ手順書」で作成した顔認証用アカウントを設定してください

※『表示』ボタンをクリックし続けるとパスワードが表示されます

『登録』ボタンをクリックしてください

※『登録』ボタンをクリック時に、ポップアップで「職員は院内の LAN ケーブル接続状況をご確認ください。【011:ネットワークエラー】」と表示された場合は、資格確認サーバ側との接続(ネットワーク)状況をご確認ください

こんなときは、

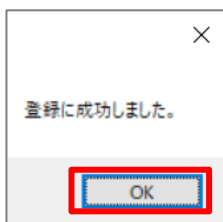
ログイン ID 登録画面にデバイス名が表示されない場合

下記内容を上から順にご確認ください

- ・本機と資格確認端末(PC)が付属の USB ケーブルで接続されていることをご確認ください
- ・ログイン ID 登録画面を『キャンセル』ボタンをクリックし、終了してください
インストーラーも『中断』を選択し、一旦キャンセルしてください
再度インストーラーを起動し、ログイン ID 登録を実施してください
- ・それでもデバイス名が表示されない場合、OS を再起動していただき、再度インストーラーを起動し、ログイン ID 登録を実施してください

上記対処を行っても改善されない場合は、ご相談窓口までご連絡ください

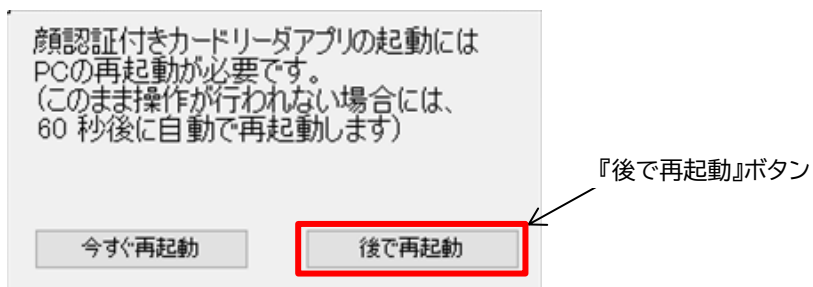
⑭登録が完了すると、下記ポップアップが表示されます



『OK』ボタンをクリックしてください

⑮OS 再起動の確認ポップアップが表示されます

「4. 5 アプリケーションソフトの個別設定」の後 OS 再起動を行いますので、ここでは『後で再起動』ボタンをクリックしてください



※インストーラー画面の『×』ボタンをクリックしてください

4.3 OS の設定確認

OS の設定確認を行います。

※OS の種類または PC の種類によっては、該当項目がない、または操作方法が異なる場合があります

①スクリーンセーバーの設定

デスクトップ画面で右クリック⇒個人用設定⇒ロック画面⇒スクリーンセーバー設定画面で下記を設定してください

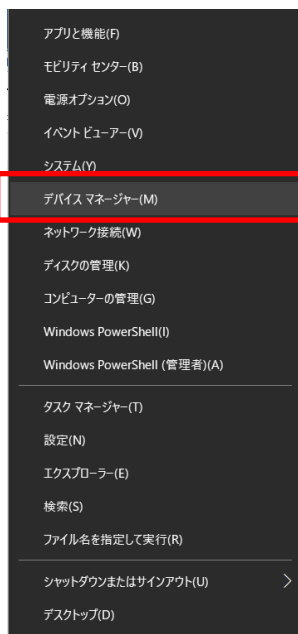
- ・『スクリーンセーバー』を『(なし)』にしてください
- ・『再開時にログイン画面に戻る』のチェックを外してください
- ・設定が完了しましたら、『OK』ボタンをクリックしてください

個人用設定の『×』ボタンをクリックし、閉じてください

②USB 節電モード

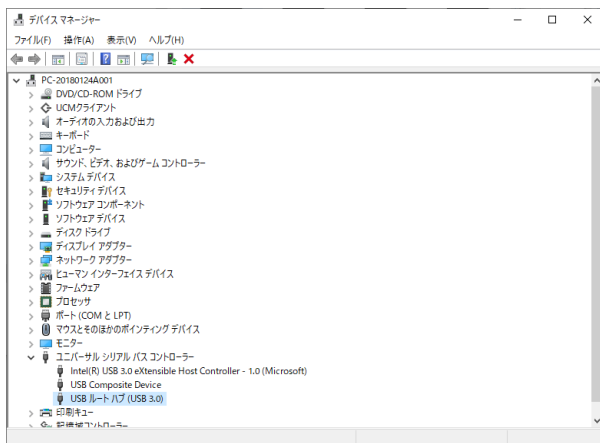
『Windows』ボタンを右クリックしてください

表示されるメニューより『デバイスマネージャー』をクリックし、起動してください



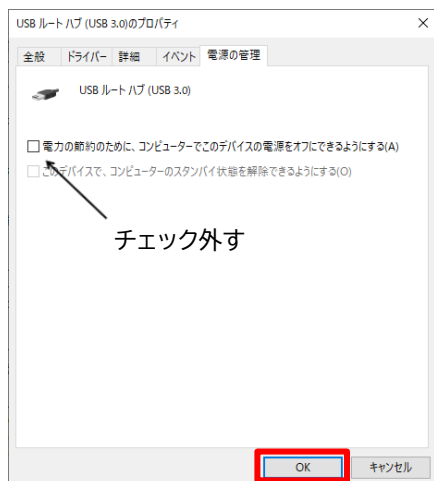
デバイスマネージャー画面が起動します

『ユニバーサル シリアル バスコントローラー』で『USB ルートハブ(USB3.0)』を
右クリックし、『プロパティ』を選択します



プロパティの画面が表示されますので、『電源の管理』タブをクリックしてください

『電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフできるようにする』
のチェックを外し、『OK』ボタンをクリックしてください

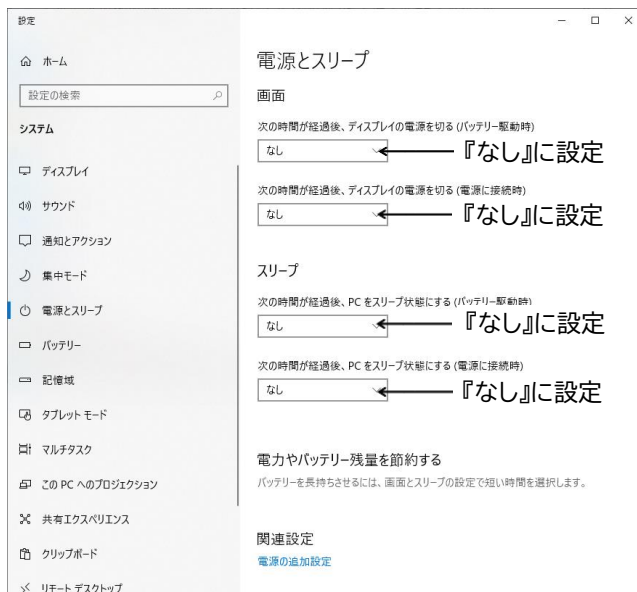


デバイスマネージャーの『×』ボタンをクリックし、閉じてください

③スリープの設定

デスクトップ画面で右クリック⇒ディスプレイ設定⇒電源とスリープの設定画面で下記を設定してください

・各項目について『(なし)』に設定してください



④高速スタートアップ設定無効の確認
関連設定の『電源の追加設定』をクリックしてください



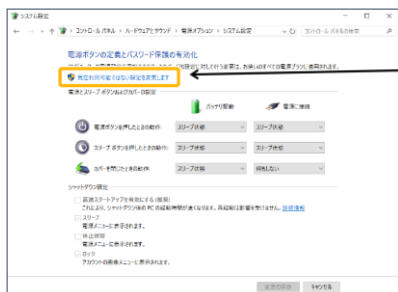
電源の追加設定

電源オプションが表示されますので、『電源ボタンの動作を選択する』をクリックしてください



電源ボタンの動作

システム設定が表示されますので、『現在利用可能ではない設定を変更します』をクリックしてください



現在利用可能ではない設定
を変更します

「シャットダウン設定」にある『高速スタートアップを有効にする(推奨)』のチェックが外れていることをご確認ください



高速スタートアップを有効にする(推奨)

※『高速スタートアップを有効にする(推奨)』にチェックが付いていた場合はクリックし、チェックを外して『変更の保存』をクリックしてください



変更の保存

電源オプションの『×』ボタンをクリックし、閉じてください

設定の『×』ボタンをクリックし、閉じてください

4.4 ランタイムソフトのインストール

本機のアプリケーションソフトの動作に必要なランタイムソフトは、付属のDVDに収録されていますのでご準備ください。

※資格確認端末に DVD ドライブが内蔵されていない場合は、別途、お客様自身で DVD ドライブをご準備ください

※ランタイムソフトは下記サイトより直接ダウンロードしていただくことも可能です

・Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=40784>

⇒ファイル名「vc_redist.x64.exe」

・Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=48145>

⇒ファイル名「vc_redist.x64.exe」

①資格確認端末のDVDドライブを開けて、ディスクトレイに付属のDVDをセットして DVDドライブを閉じてください

②Windows キー+『E』でエクスプローラを起動し、DVD ドライブを選択してください

③DVD ドライブの直下に配置されております下記インストーラーを実行し、ランタイムソフトをインストールしてください

※Ⅰ、Ⅱの両方をインストールしてください

Ⅰ. Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

⇒ファイル名「vc_redist.x64.exe」

Ⅱ. Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

⇒ファイル名「vc_redist.x64.exe」

注意) Windows 11 Pro をお使いの場合

付属の DVD メディアに収納されているランタイムソフトを**使用せず**に、以下から最新のものをダウンロードして導入願います。

・Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

<https://aka.ms/highdpimfc2013x64enu>

⇒ファイル名「vc_redist.x64.exe」

・Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x64.exe

⇒ファイル名「VC_redist.x64.exe」

4.5 アプリケーションソフトの個別設定

アプリケーションソフトの個別設定(本機の画面上に表示されるメッセージの変更)を行います。

Windows のエクスプローラから「C:¥FaceAuthReader¥bin¥」フォルダの「FaceAuthReaderSettingTool.exe」(メッセージ編集アプリ)をダブルクリックで起動し、施設名(病院名や薬局名など)を変更してください。

※下記図に表示されたメッセージは実際とは異なる場合があります

※「一行最大文字数(全角)」、「一行最大文字数(半角)」は登録可能な最大文字数の目安となっております

登録結果(表示)は必ず端末上でご確認ください

① 下記メッセージ編集画面が起動します

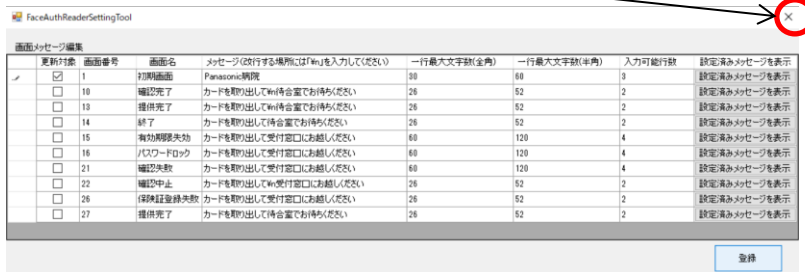
更新対象	画面番号	画面名	メッセージ(改行する場所には¥n¥を入力してください)	一行最大文字数(全角)	一行最大文字数(半角)	入力可能行数	設定済みメッセージを表示
☒	1	初期画面	○×○×○×○×○×○×w○×○×○×○×○×○×病院	30	60	3	設定済みメッセージを表示
☐	10	確認完了	カードを取り出してw待合室でお待ちください	26	52	2	設定済みメッセージを表示
☐	13	提供完了	カードを取り出してw待合室でお待ちください	26	52	2	設定済みメッセージを表示
☐	14	終了	カードを取り出して待合室でお待ちください	26	52	2	設定済みメッセージを表示
☐	15	有効期限失効	カードを取り出して受付窓口にお越しください	60	120	4	設定済みメッセージを表示
☐	16	パスワードロック	カードを取り出して受付窓口にお越しください	60	120	4	設定済みメッセージを表示
☐	21	確認失敗	カードを取り出して受付窓口にお越しください	60	120	4	設定済みメッセージを表示
☐	22	確認中止	カードを取り出してw受付窓口にお越しください	26	52	2	設定済みメッセージを表示
☐	26	保険証登録失敗	カードを取り出して受付窓口にお越しください	26	52	2	設定済みメッセージを表示
☐	27	提供完了	カードを取り出して待合室でお待ちください	26	52	2	設定済みメッセージを表示

② 更新対象にチェックを入れてください

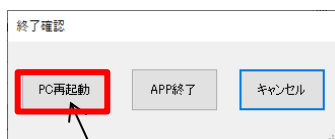
③ メッセージにカーソルを合わせ、文字列を変更後、『登録』ボタンをクリックしてください

※その他のメッセージは適宜修正してください

④修正が終わりましたら、画面右上の『×』ボタンをクリックしてください



⑤『終了確認』画面が表示されますので『PC 再起動』ボタンをクリックしてください



『PC 再起動』ボタン

アプリケーションソフトのインストール手順についての説明は、以上となります。

※引き続き、以降の章をご確認いただきアプリケーションソフトの動作確認を実施してください

※動作確認の中で、マイナンバーカードを使用した確認手順があります
事前にマイナンバーカードをご準備ください

4.6 アプリケーションソフトの動作確認

アプリケーションソフトの動作確認を行います。
以下、APP Ver X.X.X.X.X.9 の画面で説明致します。

※前項「4.5 アプリケーションソフトの個別設定」手順にて PC が再起動されました、OS のログインを行ってください

①OS ログイン後、自動的にアプリケーションソフト(下図)が起動します



本機側

資格確認端末側(管理画面)

こんなときは、(その1)

アプリケーションソフト起動後、下図のようなエラー画面が表示された場合
ランタイムソフトのインストールを実施してください
手順につきましては「4.4 ランタイムソフトのインストール」をご確認ください

上記対処を行っても改善されない場合は、ご相談窓口までご連絡ください



本機側

資格確認端末側(管理画面)

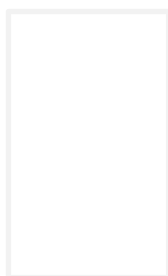
こんなときは、(その2)

アプリケーションソフト起動後、下図のようなエラー画面が表示された場合
アプリケーションソフトを終了させ、資格確認端末側に接続されている USB
ケーブルが USB3.0 対応ポートに接続されているか確認していただき、
再度アプリケーションソフトを起動させてください

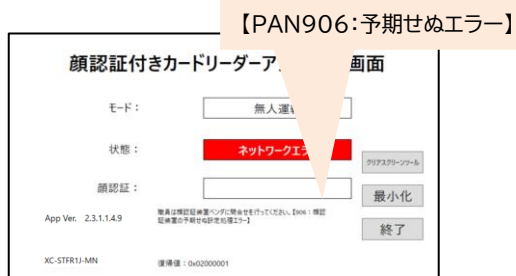
→「6 アプリケーションソフトの起動と終了」参照

→「3.3 全体接続図」参照

(接続先ポートがご不明な場合は、PC メーカー様へお問い合わせください)
上記対処を行っても改善されない場合は、ご相談窓口までご連絡ください



本機側



資格確認端末側(管理画面)

※本機側には何も表示されません

- ②管理画面で『状態:』が『待機中』になったら、本機の画面の施設名(下図の丸枠)が
「4. 5 アプリケーションソフトの個別設定」で設定した内容になっていることをご
確認ください



本機側

資格確認端末側(管理画面)

- ③本機のカード置台にマイナンバーカードを置いてください
(マイナンバーカードはケースから取り出し、顔写真面を上にして本機カード置台に置いてください)



本機側

資格確認端末側(管理画面)

- ④管理画面で『状態:』が『使用中』、本機に上記画面が表示されましたら動作確認は終了です(マイナンバーカードを取り出してください)

※動作確認中に、ポップアップで「職員は院内の LAN ケーブル接続状況を確認してください。【011:ネットワークエラー】」と表示された場合は、資格確認サーバ側との接続(ネットワーク)状況をご確認ください

5 管理画面について

アプリケーションソフトを起動すると、資格確認端末側の画面に表示される管理画面の表示項目、および表示内容について説明します。

5.1 管理画面の表示項目について

顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面

① モード：

② 状態：

クリアスクリーンツール

③ 顔認証：

最小化

④ App Ver. 2.3.1.14.9

⑤

終了

XC-STFR1J-MN

番号	項目	説明
①	モード	現在の運転モードが表示されます(→5.1.1 参照)
②	状態	システムの状態が表示されます(→5.1.2 参照)
③	顔認証	顔認証結果が表示されます
④	App Ver.	現在のアプリケーションソフトのバージョン情報を表示します
⑤	メッセージ欄	障害発生時にメッセージを表示します
⑥	終了ボタン	アプリケーションソフトを終了時にクリックします ※状態が「待機中」時のみクリックできます
⑦	クリアスクリーンツールボタン	クリアスクリーンツール使用時にクリックします クリアスクリーンツールを使用される場合は、事前に巻末の付録 A を参照し、インストールしてください ※APP Ver.X.X.X.X.X.8 以降で表示されるボタンです
⑧	最小化ボタン	管理画面を最小化時にクリックします ※APP Ver.X.X.X.X.X.8 以降で表示されるボタンです

28

5.1.1 アプリケーションソフトの運転モードについて

アプリケーションソフトの運転モードは以下の通りとなります。

運転モード	説明
無人運転	カード読み取り、顔認証／パスワード認証を行う
PIN 認証固定	パスワード認証のみ行う
目視確認	目視で本人確認し、カード読み取りのみ行う

※運転モードの切り替え方法については別紙「操作マニュアル_資格確認(一般利用者編)」を参照してください

5.1.2 アプリケーションソフトの状態について

アプリケーションソフトの状態は以下の通りとなります。

状態	説明
起動中	アプリケーションソフト起動後、待機画面が表示されるまでの状態
待機中	待機画面を表示している状態
使用中	マイナンバーカードを検知してから、カードが取り外されるまでの状態
終了中	終了ボタンが押されている状態
システムエラー	顔認証ができない状態 (運転モード切り替えにより、運用継続可能)→5.1.1 参照
ネットワークエラー	運用継続不可能な状態 ※社会保険診療報酬支払基金から提供される 別紙「トラブルシューティング編」を参照して対処してください

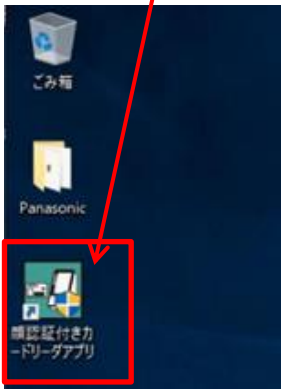
6 アプリケーションソフトの起動と終了

アプリケーションソフトの起動と終了方法について説明します。

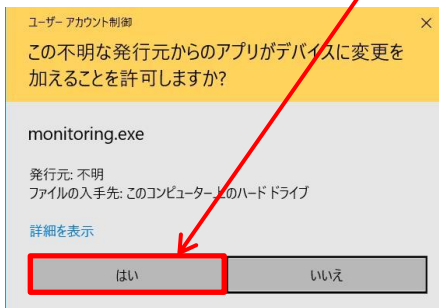
※アプリケーションソフトは OS 起動時に自動で起動されますので、通常はデスクトップ画面上からのアプリケーションソフト起動操作(→6.1 参照)は不要です

6.1 アプリケーションソフトの起動方法について

- ①Windows のデスクトップ画面で、アプリケーションソフトを起動するアイコン(ショートカット)をダブルクリックしてください

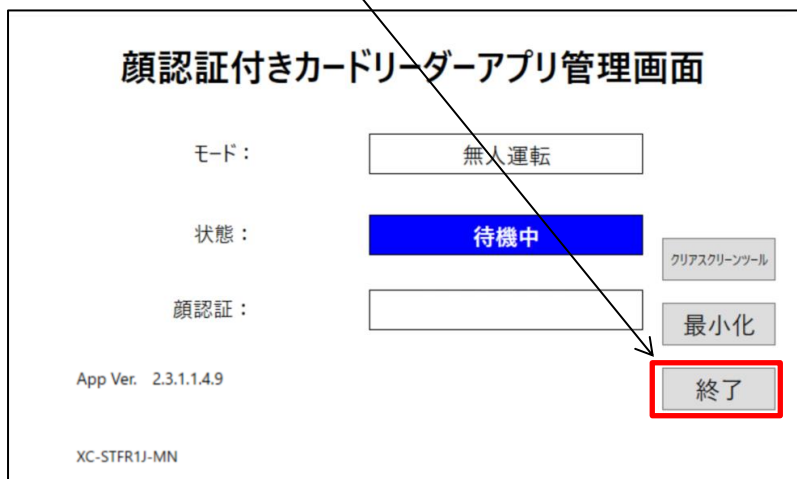


- ②下記確認画面が表示されたら『はい』ボタンをクリックしてください



6.2 アプリケーションソフトの終了方法について

①管理画面の『終了』ボタンをクリックしてください



7 アプリケーションソフトのアンインストール

資格確認端末にインストールされた XC-STFR1J-MN 用のアプリケーションソフトをアンインストールする手順について説明します。

(XC-STFR2J-MN 用のアプリケーションソフトのアンインストール手順→7.2参照)

使用するファイルは、付属のDVDに収録されていますのでご準備ください。

※資格確認端末に DVD ドライブが内蔵されていない場合は、別途、お客様自身で DVD ドライブをご準備ください

7.1 XC-STFR1J-MN 用アプリケーションソフトのアンインストールについて

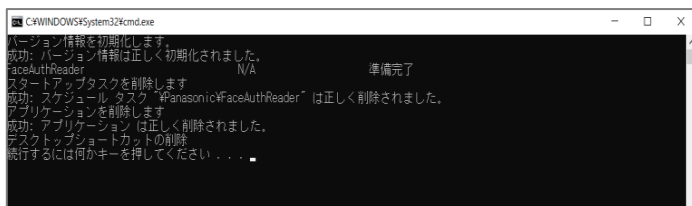
※アプリケーションソフト Ver2.3.x.1.6.22 以降の場合、最初に付録.B の手順を実施ください。

- ①資格確認端末のCD/DVDドライブを開けて、ディスクトレイに付属のDVDをセットし CD/DVDドライブを閉じてください
- ②Windows キー+『E』でエクスプローラを起動し、CD/DVDドライブを選択してください
- ③「アプリケーションソフト」のフォルダをクリックし、配下に配置されているファイル『uninstall_XC-STFR1J-MN.bat』をダブルクリックしてください

下記確認画面が表示されたら『はい』ボタンをクリックしてください



- ④ポップアップが表示されるので、画面の指示に従ってください

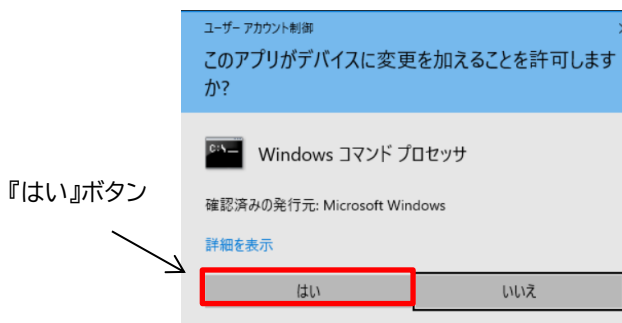


7.2 XC-STFR2J-MN 用アプリケーションソフトのアンインストールについて

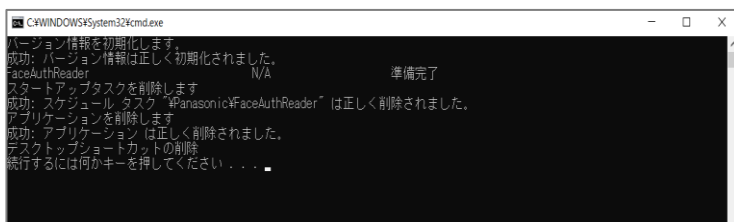
※アプリケーションソフト Ver2.3.x.1.6.22 以降の場合、最初に付録Bの手順を実施ください。

- ①資格確認端末のCD/DVDドライブを開けて、ディスクトレイに付属のDVDをセットしCD/DVDドライブを閉じてください
- ②Windows キー+『E』でエクスプローラを起動し、CD/DVD ドライブを選択してください
- ③「アプリケーションソフト」のフォルダをクリックし、配下に配置されているファイル『uninstall_XC-STFR2J-MN.bat』をダブルクリックしてください

下記確認画面が表示されたら『はい』ボタンをクリックしてください



- ④ポップアップが表示されるので、画面の指示に従ってください



8 ログイン ID(顔認証用アカウント)の切り替え手順について

下記、メーカーサイト(顔認証付きカードリーダー)の URL にアクセスしていただき、『関連資料のダウンロード』より別紙マニュアルを参照してください。

メーカーサイトの URL

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/onlineinfo>

『ログイン ID(顔認証用アカウント)の切り替え手順書』をクリックし、参照してください。

9 故障かな!?

顔認証付きカードリーダーに異常が発生した場合、その症状を確認し、以下に示す症状別の対処を実施してください。

※管理画面のメッセージ欄にエラー内容が表示されている場合は、社会保険診療報酬支払基金から提供される別紙「トラブルシューティング編」を参照し、対処してください

症状	考えられる原因	対処方法
画面が表示されない	・アプリケーションソフトを起動していない ・ACアダプターに電源コードが接続されていない ・電源コードがコンセントに接続されていない ・USB ケーブルが接続されていない ・電源や通信が一時的に途切れた ・ディスプレイの電源がきれている、または PC がスリープしている	・アプリケーションソフトを起動させてください(→6.1 参照) ・ACアダプターに電源コードを接続してください(→3.3 参照) ・電源コードをコンセントに接続してください(→3.3 参照) ・付属の USB ケーブルを使って接続してください(→3.3 参照) ・アプリケーションソフトを起動させてください(→6.1 参照) ・電源とスリープ設定についてご確認ください(→4.3 参照)
本人確認ができない	・本人のマイナンバーカードを置いていない ・マイナンバーカードがケースに入った状態になっている ・顔写真のない裏側を上にして置いている ・顔認証カメラに近づき過ぎている、または離れ過ぎている	・本人のマイナンバーカードを置いてください ・マイナンバーカードをケースから取り出し、カード単体でカード置台に置いてください ・顔写真面を上にした状態でカード置台に置いてください ・画面の枠内に顔が収まるようにしてください

症状	考えられる原因	対処方法
本人確認ができない	・写真が不鮮明、マスクを深く着用しているなどで顔の特徴が十分にとれていない	・マスクを外してから再度実施してください
顔認証できない	・顔認証付きカードリーダーでの顔撮影時の条件 顔、環境が満たされていない ・カメラのレンズが汚れている ・本機を複数台設置している場合 ・カメラに近づき過ぎている	・以下のときは、顔認証が失敗する場合があります 【顔撮影時の条件】 - マスクやサングラスの種類やその着用方法が、顔認証に適していない - 顔の照度が 100 lx 未満である - 顔の一部に影がある - 逆光になっている - 顔がカメラの枠内に収まっていない ・カメラの場所をご確認のうえ、お手入れを行ってください ※カメラの場所→2.1 参照 ※お手入れ方法→10 参照 ・顔認証カメラが向かい合わせにならないよう設置して、再度ご確認ください ・カメラから少し離れて再度実施してください

※管理画面にエラーコードが表示されておらず、かつ上記対処を行っても改善されない場合は、ご相談窓口までご連絡ください

10 お手入れ

- お手入れをするときは、必ず顔認証付きカードリーダーのアプリケーションソフトを終了させたうえで、電源プラグと USB ケーブルを抜いた状態で行ってください。
- 顔認証カメラ、タッチパネル付きディスプレイ、のぞき見防止フィルターが汚れた場合は、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
- 顔認証カメラ、タッチパネル付きディスプレイ、のぞき見防止フィルター以外の汚れは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布で軽くふき取ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、本体、または顔認証カメラ、タッチパネル付きディスプレイ、のぞき見防止フィルターが変質するおそれがありますので使用しないでください。

11 ソフトウェアライセンス情報について

- 本製品のアプリケーションソフトには、以下のオープンソースソフトウェア(以下、OSS)を使用しています。
 - ・ Apache License 2.0 に基づき提供されるソフトウェア
 - ・ Simplified BSD License(The 2-Clause BSD License) に基づき提供されるソフトウェア
 - ・ New BSD License (The 3-Clause BSD License) に基づき提供されるソフトウェア
 - ・ The MIT License に基づき提供されるソフトウェア
 - ・ GNU Lesser General Public License v3.0(LGPL)にに基づき提供されるソフトウェア
- 各 OSS のライセンス文は、付属 DVD 内の以下のファイルでご確認いただけます。
 - ・ OSS_License.txt
- 本アプリケーションソフトに含まれております GPL または LGPL のオープンソースソフトウェアは、GPL または LGPL の条件により、ソースコードの入手、再配布の権利があります。
- 製品発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読み取りが可能な LGPL が適用されるソースコードの複製物を提供致しますので、ご相談窓口までご連絡ください。
- ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用するソニーイメージングプロダクツ&ソリューション株式会社のドライバソフトウェアの使用許諾契約については、付属 DVD 内の以下のファイルでご確認いただけます。
 - ・ SONY 製デバイスドライバの使用許諾契約.pdf

- ・Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付録 A: クリアスクリーンツールの機能について

クリアスクリーンツール(以下、ツール)の機能概要

PC の無操作状態が規定時間を超えると、PC に接続されているモニタ画面をクリアスクリーンで覆います。※1

クリアスクリーン表示までの無操作時間は別途設定(「A-2 ツールの設定方法について」参照)できます。

ログオン中のユーザーパスワードでクリアスクリーンを解除します。※2

※1 顔認証付きカードリーダー端末の画面は覆いません

※2 ログオン中のユーザー以外での解除はできません

A-1 ツールのインストール(自動起動設定)について

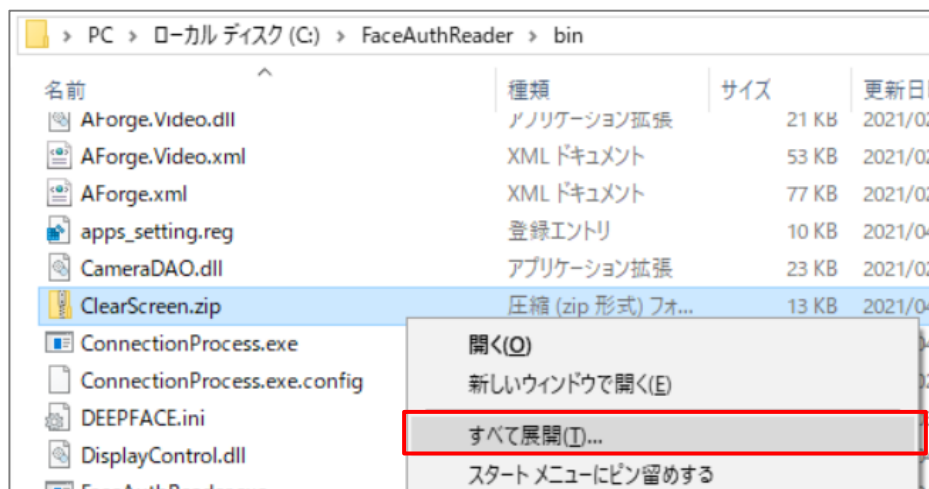
本ツールを再インストール(またはアップデート)される際は、必ず本ツールを一度アンインストールしてからインストールしてください。

(ツールのアンインストール手順は「A-6 ツールのアンインストール」参照)

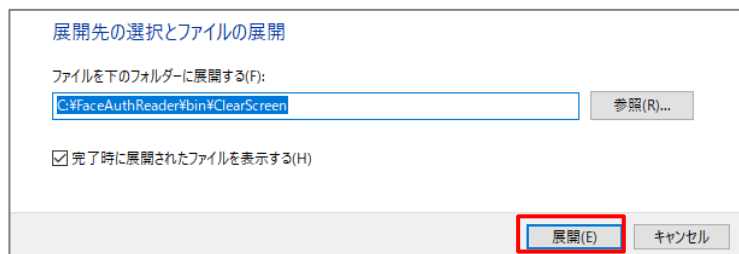
①「C:¥FaceAuthReader¥bin」の配下に配置されている「ClearScreen.zip」を選択し、右クリック

※アプリケーションソフト「XC-STFR2J-MN」がインストールされている場合、「ClearScreen.zip」は「C:¥FaceAuthReader2¥bin」配下に配置されています

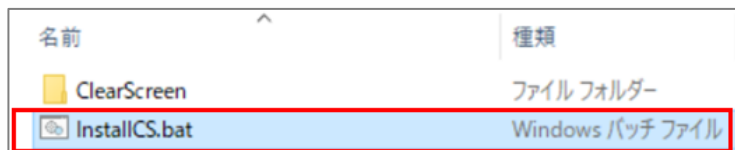
②メニューから「すべて展開」を選択してください



- ③「展開先の選択とファイルの展開」より、展開先のフォルダを指定し、『展開』ボタンをクリックしてください



- ④展開したフォルダより「InstallCS.bat」をダブルクリックで実行してください



※次回 Windows ログイン時より、自動でアプリケーションが実行されます
(アプリケーションのインストールを実行した Windows ユーザーアカウントのみ有効となります)

※自動起動停止の手順は「A-5 自動起動を停止する方法」参照

A-2 ツールの設定方法について

アプリケーションソフトが使用する設定ファイル(Config.xml)を編集します。
設定ファイルは「C:¥FaceAuthReader¥ClearScreen^{※1}」に配置されています。

※1「C:¥FaceAuthReader¥ClearScreen」フォルダ配下



設定ファイルでは、ユーザーごとの動作をカスタマイズできます。
変更した設定値を有効にするには、ツールを再起動^{※2}してください。

※2 再起動方法は以降で説明致します

タグ名	デフォルト値※	説明
Timeout	300	無操作状態になってからクリアスクリーン表示までの時間(秒)を指定します 0 以下の数値を指定した場合、クリアスクリーン機能は無効となります
BackGroudImage	.¥default.jpg	クリアスクリーン画面の背景画像のファイルパスを、ツールからの相対パスまたは絶対パスで設定します 存在しないファイルパスや、画像として表示できないデータであった場合は、背景画像は何も表示されません <指定可能な画像ファイル形式> JPEG、BMP、TIFF、PNG、ICO
FontSize	18	クリアスクリーン画面の文字サイズを指定します 10～54pt の範囲で指定してください

※デフォルト値は、指定範囲外の値や、数値データに文字を指定した場合などに使用されます

<参考:Config.xml>

```
<?xml version="1.0"?>
<ConfigStruct xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
  <!-- 無操作状態からクリアスクリーン表示までの時間の設定(初期値は 300 秒) -->
  <Timeout>300</Timeout>
  <!-- クリアスクリーン画面の背景画像の設定(初期値は.¥default.jpg) -->
  <BackGroudImage> .¥default.jpg </BackGroudImage>
  <!-- クリアスクリーン画面の文字サイズの設定(文字サイズは 10～54pt まで指定可能、初期
値は 18pt) -->
  <FontSize>18</FontSize>
</ConfigStruct>
```

※同じフォルダにある ToolSetting.xml は本アプリの動作設定ですので、編集しないでください

Timeout 値についてはクリアスクリーンツール設定画面から設定することもできます。設定画面を開くには、顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面から『クリアスクリーンツール』ボタンをクリックしてください。

顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面

モード：	無人運転	
状態：	待機中	クリアスクリーンツール
顔認証：		最小化
App Ver. 2.3.1.1.4.9		終了
XC-STFR1J-MN		

設定画面で Timeout(秒)の値を入力し、『適用』ボタンをクリックすることで上記設定ファイル(Comfig.xml)の Timeout 値を変更することができます。
変更した設定値を有効にするには、ツールを再起動してください。



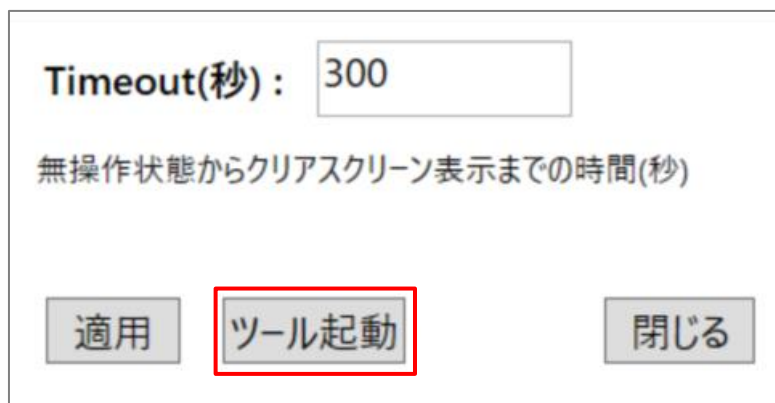
Timeout(秒) : 300

無操作状態からクリアスクリーン表示までの時間(秒)

適用 ツール起動 閉じる

This screenshot shows a settings window. At the top, there is a label 'Timeout(秒) :' followed by a text input field containing the number '300'. Below this is a descriptive text '無操作状態からクリアスクリーン表示までの時間(秒)'. At the bottom, there are three buttons: '適用' (Apply), 'ツール起動' (Start Tool), and '閉じる' (Close). The '適用' button is highlighted with a red rectangular box.

設定画面の『ツール起動』ボタンをクリックすると、ツールが再起動します。



Timeout(秒) : 300

無操作状態からクリアスクリーン表示までの時間(秒)

適用 ツール起動 閉じる

This screenshot shows the same settings window as above. The '適用' button is no longer highlighted. Instead, the 'ツール起動' (Start Tool) button is highlighted with a red rectangular box.

A-3 ロック解除方法について

無操作時間が一定時間(ユーザー設定ファイルで指定された Timeout 値)を超えると、下記のようなクリアスクリーン(下記図例は default.jpg)が表示されます。

※顔認証付きカードリーダー端末以外のサブディスプレイが接続されている場合、サブディスプレイ側にもクリアスクリーン(パスワード入力なし)画面が表示されます



ここでは、クリアスクリーンのロック解除方法について説明します。

プライマリモニタにパスワード入力欄が表示されますので、ユーザー名の欄に表示されているユーザー名のログオンパスワードを入力し、ロック解除ボタンをクリックしてください。

※パスワード未設定のユーザーの場合は、空欄のままロック解除ボタンをクリックしてください

ユーザー名		
パスワード		ロック解除

※ユーザー名は変更できません

パスワード		ロック解除
-------	--------------------------	--------------------------------------

ロック解除に失敗しました

※パスワードが間違っている場合は、上記メッセージが表示されます

A-4 ツールの起動・終了方法について

ツールを手動で起動、終了する方法について説明します。

A-4.1 ツールの起動方法

ツールを起動するには、顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面から『クリアスクリーンツール』ボタンをクリックしてください。

顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面

モード： 無人運転

状態： 待機中

顔認証：

App Ver. 2.3.1.1.4.9

XC-STFR1J-MN

クリアスクリーンツール

最小化

終了

設定画面の『ツール起動』ボタンをクリックすることで、ツールを起動することができます。
※再起動手順も同様となります

Timeout(秒)： 300

無操作状態からクリアスクリーン表示までの時間(秒)

適用

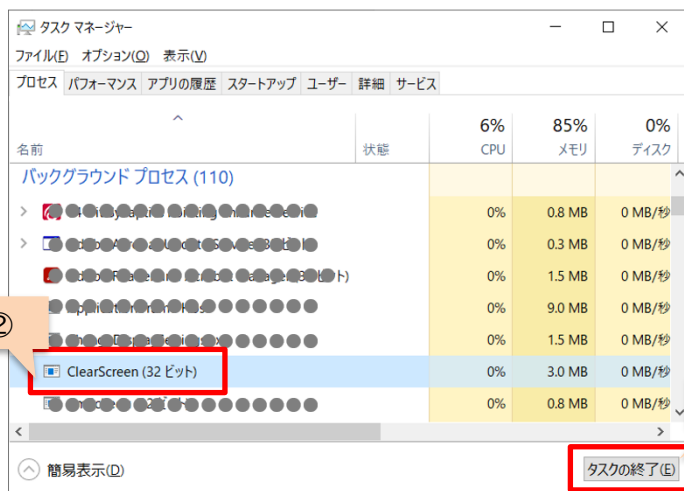
ツール起動

閉じる

A-4. 2 ツールの終了方法

ツールを終了するにはタスクマネージャーからアプリ終了を実行してください。

- ① クリアスクリーン非表示時に、『Ctrl』+『Alt』+『Del』キーを押下し、タスクマネージャーを選択、表示してください
- ② 「バックグラウンドプロセス」の一覧から「ClearScreen」を選択してください
- ③ 『タスクの終了』ボタンをクリックしてください

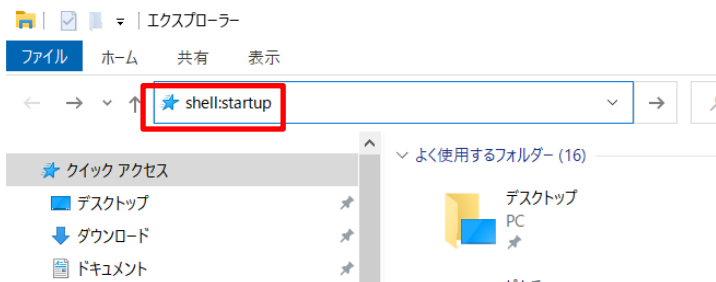


A-5 自動起動を停止する方法について

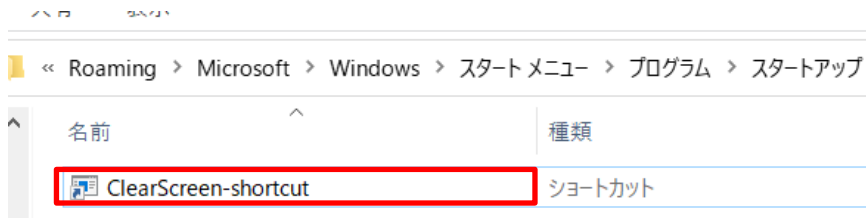
本アプリの自動起動を停止させる場合は、Windows のスタートアップからツール起動のショートカットを削除してください。

① スタートアップフォルダを表示してください

エクスプローラのアドレスバーに「shell:startup」と入力し、『Enter』キーをクリックしてください

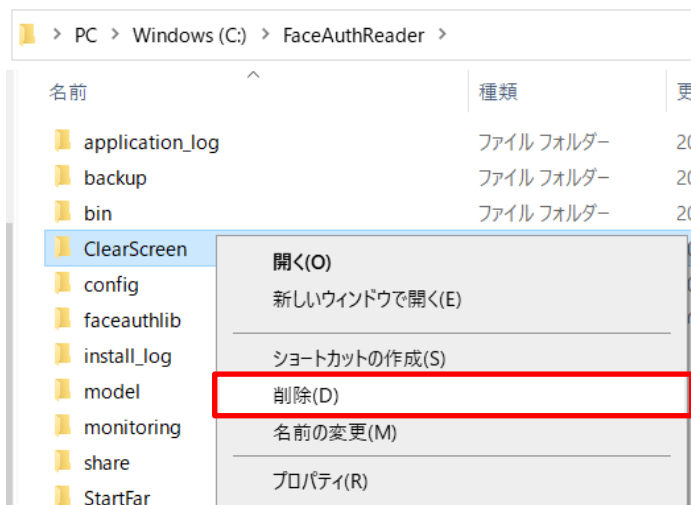


② 「ClearScreen-shortcut」を削除してください

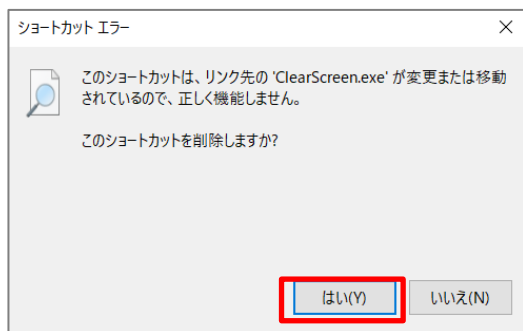


A-6 ツールのアンインストール

- ①事前に「A-5 自動起動を停止する方法」をご確認いただき、記載されている手順を実施してください
- ②『ClearScreen.exe』が格納されているフォルダ(ClearScreen)ごと削除してください



※「A-5 自動起動を停止する方法」を実施しなかった場合、OS 起動時に下記のようなエラーが表示される場合があります
その場合は『はい』ボタンをクリックしてください



※アプリケーションソフトをアンインストールする際も、必ず上記手順にて本ツールをアンインストール後、実施してください

A-7 こんなときは

クリアスクリーンツールに異常が発生した場合、その症状を確認し、以下に示す症状別の対処を実施してください。

症状	対処方法
パスワードが入力できない	下記手順を実施してください 『Ctrl』+『Alt』+『Del』キーを押下し、下記画面が表示されたら『キャンセル』ボタンをクリックしてください  上記対処方でも解決できない場合は OS を再起動※してください ※クリアスクリーン画面表示中の OS 再起動方法 ①クリアスクリーン画面表示中に『Ctrl』+『Alt』+『Del』キーを押下してください ②画面右下に表示されている電源マーク  をクリックし、『再起動』を選択してください
クリアスクリーンが起動しない	ツールがインストールされていない可能性がございます 「A-1 ツールのインストール(自動起動設定)について」を参照し、ツールをインストールしてください
「適用」ボタンを押下しても、起動までの時間が反映されない	「A-4 ツールの起動・終了方法について」を参照し、ツールを起動後、再度ご確認ください

付録 B:アプリケーションをアンインストールする前に

ご使用の資格確認端末(PC)から Ver. 2.3.x.1.6.22 以降のアプリケーションをアンインストールする場合、顔認証付きカードリーダー画面監視ツールを先にアンインストールして頂く必要があります。

アンインストールは、以下の手順になります。

顔認証付きカードリーダー画面監視ツールのアンインストールの実施

手順1/3:タスクスケジューラより関連項目の削除(2か所)

手順2/3:タスクマネージャーより関連項目の停止(1か所)

手順3/3:アプリと機能より、「顔認証付きカードリーダー画面監視ツール」のアンインストール

手順1 タスクスケジューラより関連項目の削除(2 か所)

・「タスクスケジューラ」を検索して起動する(図 B1)

・「タスクスケジューラ」にて、“Panasonic”を選択する(図 B2)

・「AppWindowMove 停止」と「AppWindowMove 起動」を選択し、右クリックのコンマンド表示から削除を選択し、2 項目を削除する(図 B2)

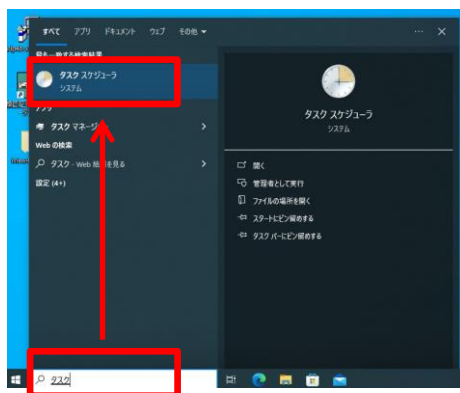


図 B1

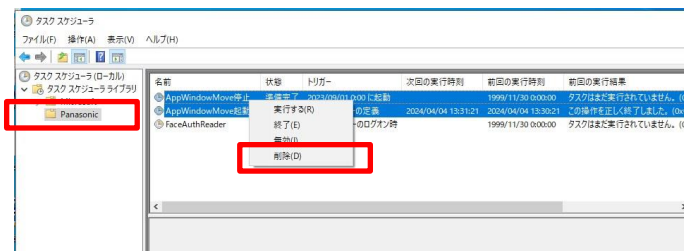


図 B2

手順2 タスクマネージャーより関連項目の停止(1か所)

・「タスクマネージャー」を起動する (図 B4)

※起動方法:【Alt】キー+【Ctrl】キー+【Delete】キーを同時に押して、[タスク マネージャー]を選択する

※表示が「簡易表示」(図 B3)となっている場合は、「詳細」に切り替えます(図 B3、○部で切り替えます)

・「タスクマネージャー」の「プロセス」タブを選択し、実行中のタスクの一覧より「AppWindowMove」を選択し(図 B5)、「タスクの終了」ボタンを押下する(図 B3、□部のボタン)

(※「タスクマネージャー」にて AppWindowMove が確認できない場合は起動していないため、手順3／3に進む)

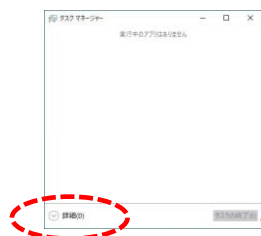


図 B3

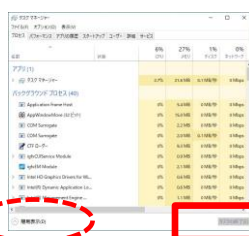


図 B4



図 B5

手順3 アプリと機能より、「顔認証付きカードリーダー画面監視ツール」のアンインストール

・Windows 設定画面を起動する(図 B6)

・設定画面から、「アプリ」を選択 (図 B7)

・アプリと機能の箇所から、「顔認証付きカードリーダー画面監視ツール」を選択し、アンインストールを選択する (図 B8)

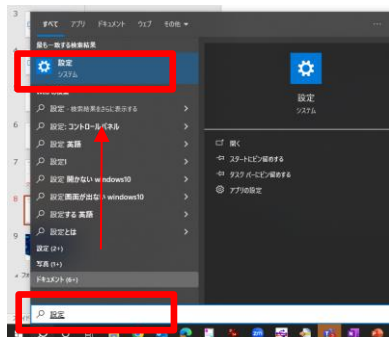


図 B6

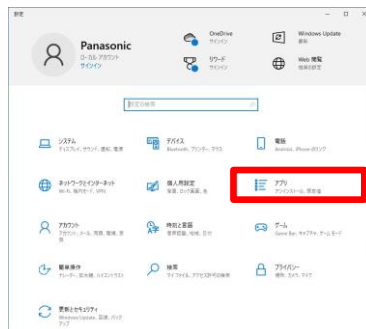
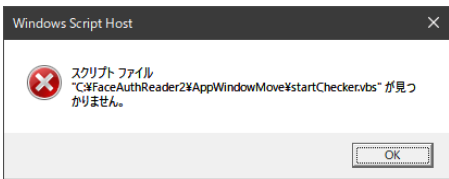


図 B7



図 B8

B-1 こんなときは

症状	対処方法
「以下のようなウィンドウが表示される」 または 「以下のようなポップアップが表示される」	 「付録 B: アプリケーションをアンインストールする前に」の手順 1～3を実施してください。

使い方・お手入れ・修理などのご相談窓口

電話 フリー
ダイヤル  0120-878-400

メール face_cr@ml.jp.panasonic.com

※携帯電話からもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願い致します。
非通知に設定されている場合は
「186-0120-878-400」におかけください。

9時～17時30分
(土日、祝日、年末年始、当社指定の休日は除く)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニックコネクト株式会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくために発信者番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供致しません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目21番1号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022